

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	Harmony寒河江		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日 ~ 2025年 1月 10日		
○保護者評価有効回答数	(ご利用家庭数)	27	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日 ~ 2025年 1月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		
○分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供の特性や保護者のニーズを充分理解し、多様性のある活動プログラムを提供している。また、子どもの自己選択ができるような支援の場を増やし、自己決定をする力を育む支援を行っています。	活動プログラムが固定化しないように毎月活動検討会を開催し、職員からの活動提案（意見など）を取り入れ、活動プログラムを決定しています。	活動プログラムの検討に際し、子どもや保護者のニーズを把握する機会を設け、導入できるものがあれば検討していきます。
2	個々の子供に対して適切なアセスメントを行い、子どもと保護者のニーズや課題を分析し、経験豊富で専門性の高い職員が放課後等デイサービス計画を作成しています。	経験豊富な専門性の高いスタッフを配置し、個々の子どもに合わせた専門支援プログラムを作成し、日々実施しています。	職員ミーティングなどで専門支援プログラム実施の情報を共有し、充実を図っています。
3	職員間で支援についての打ち合わせや当日の振り返りなどを行って、検証改善に心がけています。	支援前・支援後を含み、日々のミーティング開催を複数回設け、情報の共有と活動の検証につなげています。	日々の職員ミーティングの充実を図り、支援や活動の検証と改善に心がけていきます。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流など、地域のほかの子供たちとの交流を深めること。	普通校の支援学級に通っている児童が多いため、日常より地域の子どもたちと触れ合っています。地域の中で、どのように生活していくかの検討をしています。	児童や保護者の意見を伺いつつ、必要に応じて導入を検討していきます。
2	保護者や家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニングなど）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等が不足していること。	保護者からのニーズの把握が不十分。	保護者にニーズの聴き取りなどをし、必要に応じて、情報の提供をしています。また、地域の自立支援協議会等へ積極的に参加し、研修等があれば保護者様へ情報提供をしています。
3	父母会や保護者会の設立・開催など保護者同士の交流する機会などの支援が不足していること。	年に数回事業所のイベント（秋祭りなど）にて交流できる場を提供しています。	保護者の意見も伺い、必要に応じて交流できる機会を増やしていきます。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Harmony寒河江

公表日 2025年 2月 15日

ご利用家庭数 27 回収数 16枚

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2	1	1		施設内スペースを有効に活用できるよう、衝立やテーブル配置等に配慮し、活動等が円滑に行えるよう工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13		1	2		法定配置基準を順守し、運営しております。職員の役割分担を見直しつつ、効率化を図り、より良い支援を提供できるようにしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2		2		本日の活動や、予定等について、見てわかるように工夫を行っています。 個々の特性に応じ、わかりやすくなるよう、コミュニケーション方法等は日々検討し、更新しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1				
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	2	6	いろいろな学校の生徒と交流できているので充分だと思う。	地域児童との交流につきましては、今後も、情報交換等を図りつつ、どのような形で実施できるか、検討してまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15			1		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	2	7		今後も各種勉強会、研修会の情報発信を行っていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	5	3	7	希望者のみでいいと思う。	Harmony寒河江では、保護者様参加型の活動ができるよう企画しております。来年度に向け、広くご参加をお願いいたします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	2				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14			2	個人情報の流出に注意していただきたい。	ブログで活動の様子などの情報発信を行っていますが、個人情報に注意しながら、行っていきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1			しっかりと取り組んでいただきたい。		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	3		2		各種マニュアル整備を行っております。保護者様に周知できるよう、ご説明を行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			3		定期的に避難訓練を実施しています。実施の際は、ブログでの発信や広報等を行っていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			3		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			楽しみにして通所できていると思う。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1			親がお願いしている子供の課題について相談に乗っていただき、また個別に対応していただき感謝している。	今後も、本人様、保護者様が安心して支援を受けていただけるような環境を整えられるよう努めています。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	Harmony 寒河江		公表日 2025年 2月 15日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	仕切り等で個別スペースの確保をしています。	全体的に狭いと感じるので、スペースの活用法を検討していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	感染症予防の為、手洗いやマスク着用を推奨しています。	洗面台等が不衛生とならないよう、定期的に洗浄、消毒を行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		静かな環境を求めるお子様には別室を準備するなど対応しています。	静養室をカーテンで区切れるように対応しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	情報更新の際、全職員に共有できるよう。申し送り書などで周知できるよう工夫しています。	今後も情報共有を図り、それぞれに合わせた支援を提供できるように改善していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			適時意見を参考にし改善しています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		第三者委員会は法人では現在設置していません。実地指導等の外部の評価を受け、改善を行っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	年間研修計画に基づいて、研修を実施しています。	内部、外部研修に参加し、支援技術や質の向上を職員全員で目指していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		HP上にて公開予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		定期的な保護者面談を実施し、情報の共有や目標の設定をしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援会議にて意見交換しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		朝礼や夕礼などミーティングを実施し情報共有を行っています。	ツールを活用し、随時職員間の情報共有を図りアセスメントを行っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員ミーティングで月毎に活動計画を話し合っています。	様々な活動が行えるよう検討を行い、実施できるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		活動の概要を確認し、その他支援での注意点などについて確認しています。	職員個々が全体を把握し、必要な支援を提供することで、支援の質を上げられるようにしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		日々のミーティングで情報共有を図っています。	情報ツールの活用を通して、円滑な情報共有を行ってきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々のケース記録を記入し振り返りを行っています。	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的な実施を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7			「地域交流の機会の提供」に関しては、できていないことが多いので、今後提供の方法については検討していきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		チャレンジ活動で、課題を複数設定し、本人が選択できるような活動を提供しています。		
関係機関や保護	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			

者との連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		7	地域イベントへの参加を検討していきます。	配慮が必要なお子様たちとの交流には事前にこちらの状況をお伝えしたうえで対応に配慮してもらえる場所などを検討していきます。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		7	西村山地域自立支援協議会へ参加をし、情報交換を行っています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		7	申し送り時にお子さまの本日の様子をお伝えし、家庭での様子や学校での様子なども含め情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7	アセスメント等の際に情報提供はしていますが、研修などは行っていません。	家族に対する情報提供は重要だと思われます。家庭内で行えるSSTや、家族自身の相談など情報共有できる機会を作っていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		7		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		7		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		7		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		7		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		7		
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		7	行事予定やその日の活動概要については、通所時やお迎えの際の申し送り時に行っています。	お伝えしきれない内容については、ブログなどで写真を掲載しながら、活動の様子を発信することに努めています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		7		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		7	それぞれの特性に合わせ視覚化するなど配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		地域住民とともに行う活動については、現在実施できていません。実施方法や、規模等について今後検討していきます。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		7	緊急情報メール網を構築し、法人から情報発信できるようにしています。		

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		年2回の避難訓練を実施している。また年1回防災センター訪問を活動行事に組み込み防災訓練をしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		法人全体でヒヤリハットの情報を共有し、事故事例の防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止委員会で年2回以上研修の機会を設けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			